

第 5 学年 家庭 科学 学習 指導 案

5 年 1 組 指導者 古 庄 又

題 材 比べて納得！お金や物の使い方

1 題材について

本学級の子どもたちは、「試して納得！ソーイング」の学習において、縫い方を工夫しながら生活に役立つ小物作りに取り組み、自分の製作が生活の中で役立つことに喜びを感じることができた。その中で、学んだことを生活に生かそうとする子どもの姿が見られた。このような子どもたちが、身近な物の選び方、買い方を考え、買い物に取り組む。このことは、経済性や持続可能な社会の構築に関する見方・考え方を働かせ、身近な消費生活と環境をよりよくしていこうとする態度を育むことにつながるであろう。

本題材は、買い物の計画を立てたり、実際に買い物をしたりすることをとおして、よりよい買い物の仕方について追究していく学習である。子どもたちはまず、買い物の計画を立てる中で、同じ商品であっても、たくさんの種類があることに気付く。そして、どのように商品を選んだかについて交流する中で、商品に示されている表示などから、様々な情報を得て、目的に応じて選ぶことの必要性を見出していくであろう。その際、自分の選び方と仲間の選び方とを比較することを大切にしたい。なぜなら、比較することをとおして、自分の選び方と仲間の選び方との共通点や相違点をもとに、身近な物を選ぶ際の観点を見出すことにつながると考えるからである。

そこで、以下の支援を具体化する。

- 並行して行う題材「みそ汁作りにチャレンジ！」との関連を図り、調理実習に使う材料を買いに行く単元構成を仕組む。そうすることで、仲間と共通の課題をもとに、商品の選び方、買い方について交流することができるようにする。
- 商品の選び方、買い方についての発言があった際には、その商品を選んだ意図を問い返し、類別して板書する。そうすることで、自分の選び方、買い方と仲間の選び方、買い方との共通点や相違点を見出すことができるようにする。
- 毎時間、「今日の学習でわかったこと」「今後生かしたいこと」を観点到振り返る活動を仕組む。そうすることで、学習したことと今後の実践をつなげることができるようにする。

2 目 標

- 商品の表示などから得られる情報を収集・整理して、商品の選び方、買い方を工夫することができるようにする。
- 身近な物の選び方、買い方について関心をもち、身近な物の選び方、買い方を工夫し、身近な消費生活と環境をよりよくしようという思いをもつことができるようにする。

3 評価規準

知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
○ 目的を考えた物の選び方や適切な買い方について理解している。 ○ 購入しようとする物の品質や価格などの情報を集め、整理している。	○ 購入しようとする物の品質や価格などの情報を活用し、目的に合った物の選び方、買い方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	○ 身近な物の選び方、買い方に関心をもち、工夫して買い物をしようとしている。 ○ 身近な消費生活と環境をよりよくしようとしている。

4 指導計画（全 7 時間）※詳細を末頁に掲載

第 1 次 みそ汁の材料をかう計画を立て、学習の見通しをもつ（1 時間）

第 2 次 食品（みそ汁の材料）の選び方、買い方について交流する（4 時間）【本時 2 / 4】

第 3 次 食品以外の物の選び方、買い方について考え、学習を振り返る（2 時間）

5 本時案 【平成 2 9 年 1 1 月 2 4 日 1 0 : 4 5 ~ 1 1 : 3 0 小学校家庭科室】

- (1) ねらい 選んだ商品について交流することをとおして、商品を選ぶ際の観点を見出すことができるようにする。

(2) 学習過程

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① 前時を振り返り、学習の見通しをもつ (5分)</p> <p>学習内容 ・ 買い物の仕方への関心(態)</p> <p>・ お店には色々な商品があってどれを買うか迷ったよ。</p> <p>A 僕たちは豆腐の選び方で迷ったよ。他の班はどのように選んだのかな。</p>	<p>○ 買い物の計画について交流する際には、種類の多い豆腐の選び方について交流する活動を仕組む。そうすることで、多様な観点で商品の選び方について考えることができるようにする。</p>
<p>② 自分たちが選んだ商品について交流する (30分)</p> <p>学習内容 ・ 情報の活用(思) ・ 商品の選び方、買い方(知・技)</p> <p>A 豆腐の選び方を比べてみるのだね。僕たちは1パック 46 円の一番安い豆腐にしたよ。</p> <p>・ 私たちも同じだ。値段を考えることは大切だからね。</p> <p>B 私たちは 68 円の仁保(山口)産の豆腐を選んだよ。</p> <p>どうしてその豆腐を選んだのかな。</p> <p>B A君の豆腐と比べて、少し高いけれど、地元の食材を使いたいし、おいしそうと思ったからだよ。</p> <p>A 僕たちは産地のことは意識していなかったな。</p> <p>・ 僕たちは 128 円の、小分けになっている豆腐を選んだよ。班ごとに切る手間がないし、使わなかったら保存ができるからね。</p> <p>C 私たちはBさんと同じ豆腐を選んだけれど、賞味期限を見たよ。できるだけ新鮮な豆腐を使いたかったからね。</p> <p>A なるほど。BさんとCさんは、商品の表示をよく見ているね。商品の選び方にも色々あるね。</p> <p>他の商品はどのように選んだのかな。</p> <p>B ジャがいもを選ぶときに、袋に4個入っているものと、ばらで売ってあるもので迷ったよ。袋売りは、班で分けても余ってしまうからもったいないと思ったからだよ。</p> <p>・ 私もばら売りのじゃがいもにしたよ。大きさや見た目を選んで買えるからね。</p> <p>A そうか。使い方や目的を考えるのも大切だね。</p>	<p>○ 子どもの発言に合わせて、お店で販売してある商品の写真を提示する。そうすることで、仲間の発言の意図が伝わりやすくなる。</p> <p>○ 商品の選び方についての発言があった際には、選んだ意図を問い返し、類別して板書する。そうすることで、自分の選び方と仲間の選び方との共通点や相違点を見出しやすくなる。</p> <p>○ 以下の観点で振り返る活動を仕組む。そうすることで、学習したことと実践をつなげることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日学習でわかったこと</li> <li>・ 今後生かしたいこと</li> </ul>
<p>③ 学習を振り返る (10分)</p> <p>学習内容 ・ 買い物の仕方への関心(態) ・ 商品の選び方、買い方(知・技)</p> <p>・ 商品の表示を見ることはとても大切だと思ったよ。今まではあまり見ていなかったから、しっかりと見るようにしたいな。</p> <p>A BさんやCさんの選び方がとても参考になったよ。次の買い物では産地を意識して買い物をしたいな。</p>	

6 板書計画



第 5 学年 家庭 科学 学習 指導 計画 詳細版

5 年 1 組 指導者 古 庄 又

22M (7 時間) が本時

学習活動	子どもの意識
<p>第 1 次 みそ汁の材料を買う計画を立て、学習の見通しをもつ 3M(1 時間)</p>	
<p>学習内容 ・ 買い物への関心(態)</p>	
<p>□みそ汁の買い物の計画を立てる (3 M)</p>	<p>・ 題材「みそ汁作りにチャレンジ」で考えたみそ汁の材料を買い出しに行くのだね。楽しみだな。みそ汁に入れる実は、豆腐と玉ねぎ、じゃがいもだったね。だしはいりことかつおから選ぶのだね。あと、必要なのは味噌だね。みんなでおいしいみそ汁が作りたいよね。どのように商品を選ぶとよいのかな。僕の家では値段を気にしているよ。お金のことはとても大切だよ。予算はどのくらいなのかな。1 家庭の 1 ヶ月の平均の食費の統計のグラフだね。そこから考えると 1 家庭で 1 日約 2500 円の食費がかかっているね。1 食分 800 円くらいか。1 つの班を家族と考えると、みそ汁にかけられる値段は高くても 1 つの班で 300 円くらいかな。まずは、材料がどのくらいの値段がするかわからないから、お店に下見に行ってみよう。</p>
<p>第 2 次 食品(みそ汁の材料)の選び方、買い方について交流する 13M(4 時間)</p>	
<p>学習内容 ・ 買い物の仕方への関心(態) ・ 商品の選び方、買い方(知・技) ・ 情報の活用(思)</p>	
<p>□お店に下見に行く (4 M)</p>	<p>・ お店に来たよ。同じ材料でもいろいろな種類があるね。どうやって選ぶとよいかな。値段は大切だよ。玉ねぎは 1 つ 76 円が一番安いよ。1 つの班は半玉使うから、38 円だ。じゃがいもは 4 個入りで 128 円のものがあるよ。1 つの班だと 32 円だね。豆腐は一丁が 1 つのパックに入っているものと、小分けになっているものがあるね。一番安い豆腐は 46 円の豆腐があるね。1 つの班が 23 円だね。味噌は 348 円があったよ。1 つの班で 90g 使うから、だいたい 45 円だ。いりこは、200g で 375 円だから、ひとつの班で 30g 使うと、だいたい 56 円だ。これにしよう。よし決まったぞ。全部で 194 円で予算内で買えるな。ほかの班はどのような材料を選んだのかな。</p>
<p>□買い物の計画を交流する (3 M)</p>	<p>・ 豆腐の選び方や買い方を比べてみよう。僕たちの班は値段で選んだよ。産地を意識した班もあるね。山口県産を使いたいのだって。賞味期限で選んだ班もあるよ。僕たちは賞味期限は見ていなかったな。今度買うときにはしっかりと確認しよう。表示を見ることは大切だな。ほかの材料ではどうかな。同じじゃがいもを選んだ班でも、僕たちと違ってばら売りのじゃがいもを選んでいるよ。そちらの方が、無駄になるじゃがいもがなくてよいのだって。一つひとつ選べるとも言っているよ。そうか、量や使うときのことを考えて選べるよさがあるね。目的に合わせて買うことも大切だね。よし、今日気付いたことを生かして、買い物をしよう。</p>
<p>□みそ汁の材料を買う (6 M)</p>	<p>・ みんなでどのようなみそ汁にするか考えて、買い物に行こう。やっぱりおいしいみそ汁がよいよね。僕たちの班は、選び方や買い方の交流をしたときに出てきた、産地を意識して選ぶことにしよう。でも、それぞれが買い物をすると材料が余ってしまうよね。どうしたらよいかな。味噌といりこは班で使う量が少ないから、学級でまとめて買うのだね。みんなで話して、徳地のみそと日本産のいりこを選ぶことにし</p>

たよ。じゃがいもと玉ねぎと豆腐は、僕たちの班と同じように産地を意識する班と買う物を分担するとよさそうだね。○班と△班は僕たちと同じ産地を意識するのだね。僕たちはじゃがいもを選ぼう。玉ねぎと豆腐は○班と△班に任せたよ。おいしいみそ汁に合う材料を買おう。お店に来たよ。ばら売りのじゃがいもがよいという班の話聞いて、僕たちもそちらの方がよいと思ったから、ばら売りのじゃがいもを買おう。産地は北海道だね。無駄もないし、産地も有名だから安心だね。○班は、山口の仁保産の豆腐を選んだみたいだね。やっぱり地元の食材を使いたいよね。よし、買ったよ。エコバックを持ってきている友だちもいるね。そうか、レジ袋を買うなら5円かかるし、ごみにもなるよね。お金のことだけではなくて、環境のためにもエコバックを使うようにしよう。よし、これで買い物はばっちりだ。みそ汁作りをがんばるぞ。

題材「みそ汁作りにチャレンジ！」でみそ汁の調理に取り組む

第3次 食品以外の身近な物の選び方、買い方について考え、学習を振り返る 6M(2時間)

学習内容 ・よりよい買い物への関心(態) ・商品の選び方、買い方(知・技) ・情報の活用(思)

□ 食品の買い物を振り返り、身近な物の選び方、買い方について考える (3M)

・ みんなで材料を買って、おいしいみそ汁を作ることができたね。材料の選び方や買い方をしっかりと考えてよかったね。みそ汁の材料を選ぶときは、いろいろな表示を見ることが大切だったね。値段だけではなくて、産地や賞味期限、量を見るとよかったよね。この前、家族で買い物に行ったときに、お母さんも表示を見ていたよ。そういえば、洋服を買うときにも表示を見ていたよ。食べ物以外でどんな表示があるのかな。まずは身近なノートを見ると、枚数があるね。これは食品の量と同じだね。made in~ と書いてあるから、これは産地だね。グリーンマークや R100 と書かれたマークがあるよ。これは何のマークかな。調べてみよう。なるほど、これは、再生紙を使っていたり、何か環境に配慮したりしている商品に付くマークだね。食べ物を選ぶときにも、環境の話が出てきたよね。お金のことだけではなくて、環境を意識することもこれからは大切だね。もっと身の回りの表示について調べてみよう。

身近な物に付いている表示を調べてくる

□ 調べてきたことを交流し、学習を振り返る (3M)

・ 僕の家自転車には SG マークが貼ってあったよ。友だちの弟のおもちゃにも貼ってあったのだった。表を見ると、これは、安全基準を満たした商品に付く表示なのだね。この表示を見ると安全であることがわかるね。ほかにも、服にはサイズや素材、洗い方、食べ物には JAS マークがあったよ。これらの表示は、買う人に大きさや安全性、環境のことなど、様々なことを教えてくれているね。これからは、これらの表示をしっかりと見て、よりよく商品を選んで、買い物をするようにしよう。